

日本電産株式会社 取締役副社長執行役員（最高業績管理責任者）佐藤 明

このたびは「2019 年度（第 25 回）ディスクロージャー優良企業選定」の個人投資家向け情報提供部門においてディスクロージャー優良企業に選定いただき誠にありがとうございます。おかげさまで当社といたしましては 12 回目の受賞となりました。以前より力を入れて取り組んできた個人投資家向け会社説明会やウェブサイトの分かりやすさを高く評価いただき、大変光栄に存じます。これもひとえに日頃の投資家、証券アナリストの皆様によるご支援の賜物と、この場をお借りして深く感謝を申し上げます。

当社は 1973 年に創業した、「回るもの、動くもの」に特化した総合モーターメーカーです。当初はパソコン等に使用される精密小型モータ分野を中心に成長を続けて参りましたが、2012 年度以降は車載用や家電・商業・産業用、ロボット分野へと軸足を移し、事業構造を大きく転換しています。これは世界的な環境規制の強化を追い風に、自動車の EV シフトをはじめとした技術革新の大波が生じていることに起因するものです。当社が得意としてきた M&A と自律成長を組み合わせ、2020 年度中期戦略目標では売上高 2 兆円、営業利益率 15%以上という目標を掲げています。また、当社が社会の皆様から必要とされる企業であり続けるためには持続可能な社会の実現に寄与することが必須であると考えています。2030 年度には温暖化ガス排出量の総量を 2017 年度実績比で 30%削減することも目指しています。

変化を遂げてきた当社の実態や戦略目標達成に向けた道筋を投資家の皆様に正しくご理解いただくため、当社は IR 活動に力を入れて参りました。日本での活動のみならずニューヨークとロンドンに早期から IR 専任オフィスを設置しグローバル IR 体制を確立してきました。また、少なくとも年 1 回アジア、北米、欧州地域の各々に経営トップ層が赴き説明を行っています。個人投資家の皆様との対話においては、IR 担当者による個人投資家向け説明会や証券会社のリテール営業担当者向け説明会に加えてトップマネジメント層による定期的な個人投資家向け説明会の機会創出を図っています。中長期成長ストーリーを伝えるための重要なツールと位置付けているウェブサイトについては、2018 年に個人投資家向けサイトをリニューアルし、更なる分かりやすさを追求しました。同時に「Nidec Key Persons Report」という最新の経営戦略等をキーパーソンが説明するコンテンツを同年 6 月から 1 年間毎月公開し、当社への理解を深めてもらうことも重視しました。更に、株主通信では当社の実態をお伝えするのみならず、アンケートを通じて株主の皆様からご意見をいただき、当社と株主の皆様という双方向での対話を行っています。

今後も、ステークホルダーの皆様とのより良い対話の実現に向けて、経営トップをはじめ IR 担当者が一丸となって改善に取り組んで参る所存です。引き続きご指導ご支援いただきますよう宜しくお願い申し上げます。